

令和2年11月19日

米沢市立病院・三友堂病院新病院建設工事に係る
施工予定者選定公募型プロポーザル審査結果報告書

米沢市立病院・三友堂病院新病院建設工事に係る
施工予定者選定公募型プロポーザル選定委員会

委員長 笈 淳夫

副委員長 山下 哲郎

仁科 盛之

穂坂 雅之

田林 義則

渡邊 孝男

大串 雅俊

渡辺 勅孝

渡邊 総一郎

米沢市立病院・三友堂病院新病院建設工事に係る施工予定者選定公募型プロポーザルについて、次のとおり審査結果を報告します。

1 審査結果

米沢市立病院・三友堂病院新病院建設工事に係る施工予定者選定公募型プロポーザル選定委員会（以下、「選定委員会」という。）は、厳正かつ公正に審査を行った結果、次の者を最優秀提案事業者及び優秀提案事業者に決定しました。

順位	最優秀提案事業者	次点者	第3位	第4位	第5位
参加者名	B者（フジタ・後藤組・中村建設特定建設工事共同企業体）	A者（鹿島・金子建設特定建設工事共同企業体）	D者	E者	C者
実績評価点 （配点：12）	12.00	12.00	11.00	12.00	11.00
技術提案評価点 （配点：48）	34.98	32.38	33.37	33.82	27.98
価格評価点 （配点：40）	19.15	19.91	17.08	10.58	12.64
評価点合計 （配点：100）	66.13	64.29	61.45	56.40	51.62

2 審査過程

(1) プロポーザル実施方法の決定

令和2年5月29日に開催した第1回評価委員会において、委員9名全員出席のもと、米沢市立病院・三友堂病院新病院建設工事に係る施工予定者選定公募型プロポーザル実施要項に基づく実施手順を確認し、プロポーザル公告の手続き、技術提案書作成方法、審査基準などについて決定しました。

(2) 公告

令和2年6月1日に「公募型プロポーザル手続き開始の公告」を米沢市立病院及び三友堂病院のホームページに掲載しました。

(3) 一次審査に関する質問書の提出

質問書の提出期限である令和2年6月5日までの間に、5者から質問書の提出がありました。

(4) 質問書への回答

令和2年6月12日に、米沢市立病院及び三友堂病院のホームページにおいて、質問に関する回答を掲載しました。

(5) 参加表明書の提出

令和2年6月1日から令和2年6月16日までの間で募集した結果、5者から参加表明書の提出がありました。

(6) 参加資格審査結果の通知、プロポーザル関係書類提出の要請

参加資格審査は、参加表明書の提出のあった5者について参加資格を確認するための作業であるため、選定委員会は開催せず、評価委員会事務局で参加資格を確認しました。その結果5者の全てが参加資格を有することが認められたため、令和2年6月19日に、参加資格申請書審査結果通知書を5者に交付するとともに、技術等審査の参加を要請しました。

(7) 資料の貸出及び追加指示

令和2年6月19日より秘密保持誓約書の提出の条件の元、基本設計図書の資料の貸出を行いました。また令和2年7月6日に参加者へ一部資料に関する追加指示を行いました。

(8) 技術等審査に関する質問書の提出

質問書の提出期限である令和2年7月13日までの間に、5者全てから質問書が提出されました。

(9) 質問書への回答

令和2年7月27日に、電子メールにおいて、質問に関する回答をしました。

(10) プレゼンテーション及びヒアリング方法の決定

プレゼンテーション及びヒアリングについては、米沢市内で開催するものの、新型コロナウイルスによる感染拡大防止のため一般公開せず、後日ホームページへの公開とすることを、令和2年8月13日にホームページにて通知しました。

(11) 技術提案書の提出

技術提案書の提出期限である令和2年8月17日までの間に、5者全てから技術提案書及びVE提案書が提出されました。

(12) 技術等審査

技術等審査は、令和2年8月31日に開催した第2回評価委員会において、委員9名全員出席のもと、次の手順で実施しました。

- ・ 参加資格等審査を通過した5者から、個別にプレゼンテーション及びヒアリング（質疑応答）を行いました。
- ・ プレゼンテーションでは、特にアピールしたい点などについて20分以内での説明を求め、その後、委員による40分間のヒアリングを行う形式で実施しました。
- ・ 5者のプレゼンテーション及びヒアリングが終了した後、同日に技術提案書における審査と、VE提案書における採否確認を非公開で実施しました。
- ・ 技術提案書における審査においては、まず全体を通じた意見交換と審査基準の再確認を行いました。その後、評価委員各々で技術提案書とヒアリングにおける質疑応答を元に、各項目の採点を行いました。最終的に、各委員の採点結果を集計し、技術提案の評価点を算出しました。

技術提案書の採点は「米沢市立病院・三友堂病院新病院建設工事に係る施工予定者選定公募型プロポーザル実施要項」で求めている下記の技術提案の項目ごとにおこないました。

ア 実施設計段階の実施方針（配点12点）

- ① ECI発注のメリットを生かせる手法
- ② 関係者と円滑にコミュニケーションを図る手法
- ③ コスト増加を抑制できるコストコントロール手法
- ④ 基本設計への改善提案
- ⑤ その他自由提案（4項目まで）

イ 施工段階の実施方針（配点15点）

- ① 隣接する既設病院インフラのノンダウン化への配慮
- ② 隣接する既設病院、周辺住民に対する騒音・振動・安全対策等の配慮

- ③ コスト増加を抑制できるコストコントロール手法
- ④ 施工を円滑に進めるために行う関係者とのコミュニケーション手法
- ⑤ 工事中の駐車場計画、患者移送計画
- ⑥ 工事中の感染管理手法
- ⑦ その他自由提案（3項目まで）

ウ 工期を遵守するための提案（配点6点）

エ 地域貢献に関する提案（配点14点）

- ① 米沢市内建設事業者の活用方法（2項目まで）
- ② 米沢市内事業者からの建設資材の購入計画
- ③ 上記①②以外の業種の活用方法
- ④ その他自由提案
- ⑤ 上記①から④の履行確認・モニタリング方法

- ・ VE 提案における採否確認においては、各参加者からの VE 提案について、あらかじめ発注者ごとに検討した結果を持ち寄りました。内容について意見交換を行い、最終的に評価委員会の総意として、各参加者の VE 提案の採否を決定しました。
- ・ 事務局にて行った各参加者の企業及び技術者の実績等の集計を確認し、審査基準に基づき実績の評価点を算出しました。

(13) VE 提案採否の通知

令和2年9月7日に、電子メールにおいて、技術等審査で決定した VE 提案の採否を各参加者へ通知しました。

(14) VE 提案採用後工事費内訳書の提出

令和2年9月16日までに、採用された VE を含めた工事費内訳書が5社から提出されました。

(15) 最終結果の通知

審査基準に基づき、VE 提案採用後工事費内訳書の総額から各参加者の価格点を算出しました。第2回審査委員会で算出した実績評価点、技術評価点と合わせて合計評価点を算出し、最優秀提案事業者及び次点者を確定しました。最終審査結果については、令和2年9月18日に、米沢市立病院及び三友堂病院のホームページに掲載し、また各参加者へ結果を通知しました。

3 審査の講評

今回の米沢市立病院と三友堂病院の整備計画は、それぞれの医療機能を再整備して、公立と民間の二つの病院を同一の敷地に隣接して建てるという、これまでにはないプロジェクトです。さらに二つの病院に加えて、両病院で利用するアメニティセンターという外部事業者が事業主として参加し、またエネルギーサービス事業者も別途選定されるため、非常に関係者が多く複雑なプロジェクトでもあります。工事としても、豪雪地域である米沢市の南北に細長い敷地に、既存の米沢市立病院を運営しながら、令和 5 年度中に竣工、開院する必要があります。いくつもの検討すべきテーマが含まれていました。そうした難しい条件にもかかわらず、5 者から意欲的な技術提案書が提出され、評価委員会として真摯に審査に取り組みました。

全体として、今回のプロポーザルに参加した 5 者とも、業務を実施するのに十分な実績と業務体制を有していると評価されました。技術提案については、いずれの案も本事業関係者との協議体制の構築、施工者技術を踏まえた設計支援提案やコストコントロール、工程遵守のための冬期工事の工夫や独自技術による効率的な施工計画、等について提案されており、今回の事業の条件に十分に配慮されていました。保育所先行移転の提案については複数社から提案がありましたが、事業区分や費用面で十分理解を得ることはできませんでした。価格については、VE 反映前の見積額と審査により採用となった VE 提案を踏まえた総額について、計算式により客観的に算出し評価しました。

以下技術提案書の審査講評です。

B 者（最優秀）

採点の結果、設計段階の「コスト増加を抑制できるコストコントロール手法」、施工段階の「コスト増加を抑制できるコストコントロール手法」と「工事中の感染管理手法」、工期遵守の項目、地域貢献の「①②以外の業種の活用方法」（具体的な提案）と「その他自由提案」（将来の建設業の担い手に対する築育教育）が高く評価されました。一方で、設計段階の「その他自由提案」の 1 つの項目や、「地域貢献の米沢市内業者からの建設資材の購入計画」については選定委員の理解を得ることができませんでしたが、総体的に最も高い評価となりました。

A 者（次点）

採点の結果、設計段階の「その他自由提案」の 2 つの項目（駐車場計画と動線計画における渋滞予測シミュレーションと廃棄物処理システム）、施工段階の「施工を円滑に進めるために行う関係者とのコミュニケーション手法」と「その他自由提案」の 1 つの項目（患者移送計画における位置管理システム）、地域貢献の「米沢市内業者からの建設資材の購入計

画」が高く評価されました。一方で、設計段階の「基本設計への改善提案」、「その他自由提案」の1つの項目などで選定委員の理解を得ることができなかつたために、総体的に低い評価となりました。

D者

採点の結果、設計段階の「関係者と円滑にコミュニケーションを図る手法」と「基本設計への改善提案」、施工段階の「隣接する既設病院、周辺住民に対する騒音・振動・安全対策等の配慮」が高く評価されました。一方で、設計段階の「その他自由提案」の1つの項目や総じて地域貢献に対する提案の内容について選定委員の理解を得ることができなかつたために、総体的に高く評価されませんでした。

E者

採点の結果、設計段階の「関係者と円滑にコミュニケーションを図る手法」と「基本設計への改善提案」、施工段階の「その他の自由提案」の2つの項目（解体工事の安全対策、市民や病院関係者への工事情報の提供）が高く評価されました。一方で、総じて地域貢献に対する提案の内容について選定委員の理解を得ることができなかつたために、総体的に高く評価されませんでした。

C者

採点の結果、地域貢献の「米沢市内建設事業者の活用方法」の2つの項目（市内企業との共同企業体の構成と若手技術者の登用、共同企業体における市内事業者の採用とインターンシップの受け入れ）と「①②以外の業種の活用方法」が高く評価されました。一方で、設計段階の「基本設計への改善提案」と「その他自由提案」の2つの項目、施工段階の「工事中の駐車場計画、患者移送計画」と「その他自由提案」の1つの項目などが選定委員の理解を得ることができなかつたために、総体的に低い評価となりました。

最後になりますが、限られた期間にも関わらず、非常に密度の高い、優れた提案を作成された各参加者の熱意と尽力に、選定委員一同心より感謝を申し上げます。

以上